

# 新年を迎えて

新たな年を迎えた今月号では、平成28年を振り返るとともに、平成29年におけるまちづくりの展望をお伝えします。



## 謹賀新年

鳩山町長 小峰 孝雄

### 平成28年を振り返りかえって

新年あけまして、おめでとうございます。皆さまには、輝かしい新春を健やかに迎えたいと、心からお喜び申し上げます。

平成28年を振り返って、二つほど述べさせていただきます。一つ目として、現在、鶴ヶ島市・毛呂山町・越生町・鳩山町の1市3町の一部事務組合で建設を進めている(仮称)鳩山新ごみ焼却施設は、昨年の3月に都市計画が決定されました。

現在、施設稼働期間を最長30年とすることで、地元の皆さまのご理解をいただき、施設建設に向けた合意形成が図られています。施設用地の売買交渉も始まっています。

あらためて、地元の皆さま、地権者の皆さまのご理解とご協力に深く感謝申し上げます。

二つ目として、鳩山町の健康寿命が平成26年データで、男女ともに県内1位となることになりました。

「健康寿命」とは、65歳から、介護などに依存しないで、自立した生活ができる期間です。平成25年データでは男女とも

に県内第2位という結果でしたので、ようやく念願の男女とも第1位となることができました。健康づくりへの皆さまのご理解とご協力に感謝いたします。

健康寿命の延伸には、転倒防止のための「筋力」、バランスの

### 地方創生へ向け着実な歩みを

平成29年の展望の一つ目として、既に着工している「(仮称)地域包括ケアセンター」が6月頃に完成予定です。隣接する民間事業者による特別養護老人ホームも今月24日に開所式を迎えます。

この特別養護老人ホームと一体になった福祉健康・多世



旧松栄小学校用地に整備が進む福祉健康・多世代交流複合施設

とれた「食生活」、楽しみや生きがいとなる「社会参加」の三つが重要であると言われています。今後とも、町では健康寿命のさらなる延伸に向け、この三つの側面における取り組みを重点的に行っていくと考えています。

代交流複合施設を拠点として、住み慣れた鳩山にいつまでも住み続けることができるための「地域包括ケアシステム」の構築を実践する年になります。二つ目として、すでに策定している泉井及び上熊井地区活性化取組方針と「鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、北部地域活性化と鳩山ニュータウン再生を推進します。地方創生事業に対する交付金などを活用して、着実に進めていきたいと考えています。

こうした取り組みを元に、「しっかりと前進」「みつめる未来」をまちづくりのスローガンにして、全力で取り組むたいと考えていますので、町民の皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願いたします。

全国で「地方創生」への取り組みが進むなか、鳩山町でも平成27年10月に「鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。町の地方創生の取り組みは、平成28年9月に発行した「地方創生特別号」でその概要をお知らせしましたが、「北部地域活性化」と「鳩山ニュータウン再生」を2本柱としています。今月号では、その具体的な取り組みをご紹介します。

## 動き出す 鳩山町の「地方創生」

### 北部地域活性化

公共交通空白地域解消のため、地域と町が協働で検討を重ねてきた町営路線バス無料試験運行を開始します

鳩山町北部地域活性化基本条例に基づく活性化の推進モデル地区である泉井地区と上熊井地区では、地域と町との協働指針となる「活性化取組方針」を策定しています。この方針に基づく

事業の一つである「町営路線バス新設事業」がいよいよ動き出します。事業の位置づけは、町が平成28年3月に策定した「鳩山町地域公共交通網形成計画」に基づく特定事業となります。



国土院の電子地形図に運行ルート・停留所を追記して掲載



1月からの試験運行に関する詳細は、広報1月号と同時配布のチラシをご覧ください。

平成29年1月11日(水)～3月31日(金)は運賃無料で試験運行を行い、平成29年4月～9月に有償運行へ切り替える実証運行を行います。そして、平成29年10月からは本格運行となる予定です。

■問合せ 役場政策財政課 政策推進担当  
☎296-11212

### 鳩山ニュータウン再生

(仮称)コミュニティ・マルシェにおける町民参加型の事業展開を考える ワークショップを開催します

鳩山町は、人口減少とともに少子高齢化が急速に進んでいます。特に大規模住宅団地である鳩山ニュータウンにおける高齢化は、埼玉県内で最も著しい状況となっています。そこで町では、鳩山ニュータウン再生事業の一つとして、国の地方創生加速化交付金の採択をうけ、「鳩山町」生涯活躍のまち「構想推進による住宅団地アクティブ化・キックオフ事業」に取り組んでいます。

この住宅団地アクティブ化事業では、「空き家への移住促進」「各種資源を活かした多世代の活躍」「安心して住み続けられるまちを支える地域包括ケアの推進」を三本柱とした「鳩山町生涯活躍のまち構想及び基本計画」を策定します。

策定した構想等に基づいて、個別具体的な事業計画を定めるとともに、事業主体の選定・育成を進めていきますが、空き店舗を活用したアクティブ化の拠点施設である(仮称)コミュニティ・マルシェの整備が、重点事業の一つと

なっています。(仮称)コミュニティ・マルシェ内には、移住交流推進センター、コミュニティ・カフェ(まちおこしカフェ)、シェア・オフィスを新設するとともに、ふくしプラザを移転しますが、このマルシェを町民参加型で育てていくために、どのような事業が展開できるかなどを一緒に考えるワークショップを開催します。

■日時 ①2月11日(土)、②2月17日(金) いずれも午後1時30分から ※①②とも同じ内容です。

■場所 ふれあいセンター 303・304

■内容 町民参加型の事業展開についてなど

■問合せ 役場政策財政課 政策推進担当 ☎296-11212



住宅団地アクティブ化事業の概要は次ページをご覧ください